

萩の友

第22号

平成31年(2019)3月発行

萩市文化協会
会長／有富 美子
編集
会報編集委員会
委員長／大場 洋

萩・明治維新150年祭 記念事業特集

平成30年10月22日、150年前の明治改元の日に合わせ、萩・明治維新150年記念式典が萩市民館大ホールにおいて開催されました。(参加人数1,000人)



▲記念式典で挨拶される藤道市長



▲書道パフォーマンス(萩光塩学院)



▲萩の明治維新に関わる子孫の方々
右から、毛利氏ご子孫毛利元敦さん、井上勝ご子孫井上勝重さん、楯取素彦ご子孫楯取能彦さん、久坂玄瑞ご子孫久坂佳照さんがご参列され、あいさつをされました。



▲長州ファイブジュニアによる「志」メッセージの発表

萩市文化協会総会を開催します

6月1日(土)午後3時 市民館小ホール

記念講演会 写真家 下瀬 信雄氏

雑感

会長 有富 美子

三月二十一日深夜、シアトル・マリナーズのイチロー外野手が引退会見をした。日本球界だけでなく大リーグでもレジェンドの活躍をした彼は、イチロー選手らしく淡々と質問に答えていた。その会見を見て、ストイックな生活や練習を毎日繰り返しながら、ずっと野球を愛し続けた彼の生き方や、長きにわたり第一線で活躍し続けたイチロー選手の偉業にあらためて多くの人たちが感嘆したに違いない。彼は「バットを持ったマジシャン」と称されるほど自由自在に球を打ち分けヒットを重ねていったが、そんな彼の映像を見るたび、私は彼の姿に芸術的な文化さを感じた。

少し乱暴だが、人間の心の豊かさを作る活動がすべて文化とするならば、体を動かすことで元気になり、すごい技や演技をみて感動し、仲間たちとコミュニケーションを重ね、人間として心身共に大きく成長することができると、年を重ねると、若いときは平気であったこともいろいろ大変になっていくが、特に次世代に希望や勇気、感動を与えられる文化活動に、これからの、かわっていききたいと願っている。

平成31年度 加盟団体主要行事一覧表(平成31年4月～令和元年9月)

月	日	時間	行事名	場所	団体名
4	13	18:00~23:00	厳島神社祭礼	越ヶ浜全域	越ヶ浜郷土芸能保存会
	14	13:00~23:00			
	21	14:00~16:00	横笛と11弦ギター 桜・聖母・祈り	萩光塩学院幼稚園ホール	劇団さくら組
5	19	9:50~16:30	第23回北浦歌謡フェスティバル	萩市民館大ホール	NPO法人北浦音楽芸能文化協会
	25	15:00~16:30			
	26	13:00~14:30	邦寿一人ライブ	ちょんまげビル(旧タルタル21)大寧寺本堂(長門市)	萩三音会
7	13~15	9:00~17:00 最終日16:30	第50回啓心書道展	萩市民館小ホール	啓心書道会
	14	14:00~16:00			
	18~19	18:00~23:00	合唱講習会 厳島神社管弦祭	萩西中学校 山口県漁業協同組合越ヶ浜支店	萩音楽協会 越ヶ浜郷土芸能保存会
8	3	11:00~23:50	住吉神社神幸祭「御船謡」巡行	市内各所	住吉神社お船謡保存会
9	23	11:30~11:40	越ヶ浜神楽舞	山口県漁業協同組合越ヶ浜支店	越ヶ浜郷土芸能保存会

※各団体から報告のあったもののみを掲載

「下瀬信雄」展 開催 2019年5月23日(木)~7月7日(日)

萩市在住の写真家、下瀬信雄氏(1944~)は、東京総合写真専門学校で写真を学んだ後、家業の写真館を継ぎ、郷土の文化や風土を独自の視点で撮るスタンスを貫いてきました。写真集「結界」(2014年)は、第34回土門拳賞を受賞し、日本の自然写真の系譜に新たな領域を切り拓いたと評価されています。

本展覧会では、卒業制作など初期の作品から「結界」シリーズまで、写真家・下瀬信雄氏の軌跡をたどります。



下瀬信雄氏

▽開催期間 2019年5月23日(木)~7月7日(日)
※休館日 月曜休館(ただし6/3、7/1は開館)

▽会場 山口県立美術館(山口市)

▽観覧料 一般1,200(前売券1,000)円/シニア、学生1,000(前売券800)円※シニアは70歳以上の方、18歳以下の方は無料

※コレクション展セット券(当日券のみ)

一般1,300(前売券1,100)円/学生1,100(前売券900)円

▽主催 山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送、萩市、萩市教育委員会

◆広報誌編集委員会

委員長 大場 洋(萩川柳会)
阿武 紀香(華道池坊萩支部)
石橋 慶子(萩音楽協会)
河野 健雄(萩花鳥会)
木戸 洋子(萩阿武長門合同短歌会)
土田 千浩(委員長推薦)
山根 清人(萩美術協会)

原稿募集!

会報「萩の友」は、会員の交流の場です。皆さんからの情報・原稿を募集しております。どんどんお寄せください。

編集後記
▼正に桜花爛漫、陽気に誘われて外出、街中を巡りました。今さらながら、萩には桜が多いですね。そこで仲間とお花見に。老人ですから、花より団子でなく、お酒も往時の様には進まず、しつかり花を堪能してきました▼閑話休題。明治維新百五十周年の特集を組んでみると、本当に多くの行事を市民総参加で取り組んだのだなあと感嘆します。あなたはどれに参加されましたか▼ジュニアの行事も、また、少なくありませんでした。維新の歴史をひも解き、未来へ繋げていくという趣旨からも当然と言えば当然ですが、次世

代へ繋ぐという今後をこそ大切にしたいものです▼維新史における繋がりやわだかまりを越える、鹿児島や、福島等との交流も意義深い行事でした▼この度の特集にのっていない行事も少なくなかったようです。老人クラブの活動や花博等での県下的な取り組みもありました。広く多角的な取り組みを振り返ると、そこにあるエネルギーに圧倒されました▼五月一日から元号は「令和」に変わります。さあ、新しい時代の明日へ向かって新しい歴史づくりに取り組んで参りましょう▼季節の変わり目くれぐれもお体お大切にお過ごしください。

(編集委員長 大場 洋)

萩・明治維新百五十年祭

記念式典・特別記念講演

■記念式典

明治維新百五十年の節目の年にあたり、近代日本の扉を開いた先達たちの歴史をひもとく、維新の精神を風化させることなく、幕末・維新の萩物語を将来につなげていくとともに、萩の魅力を広く市内外に情報発信するため、百五十年前の明治改元の日に合わせ、「萩・明治維新百五十年記念式典」と、京都大学IPS細胞研究所所長 山中伸弥教授をお招きして、「萩・明治維新百五十年特別講演」を開催しました。

藤道市長は挨拶で「先人の志に思いをはせ、皆様とのつながりがさらに深まり、未来に向かった新たなステージを迎えることができるよう努めるとともに、次代を担う人づくりと新しい町づくりに果敢に挑戦していきます」と述べられました。



住吉神社「お船謡」

▽日時 平成三十年十月二十三日
▽会場 萩市民館大ホール
▽参加者 一、〇〇〇人

■特別記念講演

同日、京都大学IPS細胞研究所所長の山中伸弥教授による特別講演が行われました。聴衆は、市内の中高生二一三人、医療関係者一四〇人のほか全体で約九九〇人。

山中教授は、「私の修行時代」未来を切り拓く力とは」と題して講演され、「若い時から英語を学ぶこと、しっかりと、ぶれないビジョンを持つことが大切」と語られました。



山中伸弥氏プロフィール

神戸大学医学部卒業、大阪市立大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。米グラッドストーン研究所に留学後、大阪市立大学医学部助手、奈良先端科学技術大学院大学教授、京都大学再生医科学研究所教授を経て、二〇一〇年四月より現職。二〇一二年にジョン・ガードン博士とともにノーベル生理学・医学賞受賞。

記念行事

■第七十三期本因坊戦一局萩対局

▽日時 平成三十年五月十五日・十六日

▽会場 萩・明倫学舎二階

▽対局者 本因坊文裕 天井裏見学室

▽参観者 約三十名 対 山下敬吾九段



初手を打つ井山九段

■歌会「百五十年の歴史と暮を詠む」

本因坊戦第一局に合わせ、第五局の開催地・福島県会津若松市の歌人らが萩市を訪問、長州の歌人との交流が行われました。

本因坊戦の初手を観戦後、市内の維新ゆかりの地を吟行し、萩博物館で催す歌会でそれぞれの歌を披露しました。

■「リーダーシップセミナーin萩」

明治維新百五十年を記念したひとつの事業として、「リーダーシップセミナーin萩」を、松陰神社で開催しました。



上田名誉宮司による講話

首都圏及び萩市からの参加者は、普段は立ち入ることのできない松下村塾の中で、リーダーシップについて学びました。

【第一回】平成三十年六月十六日、十七日 参加者四十人（うち萩市十人）

【第二回】平成三十年十一月十七日、十八日 参加者四十九人（うち萩市二十三人）

■「萩〜白河」

子どもの心ふるさと交流事業

明治維新及び白河戊辰百五十年記念事業として、福島県白河市の小学生を萩市に迎え、萩市の小学生と様々な体験活動を通じて、それぞれの市の自然・文化・歴史等を学びながら、友情を育むための交流事業を実施しました。

▽日時 平成三十年八月四日〜六日
▽参加者 白河市十六人、萩市五十一人



■鹿児島市・萩市

青少年友好交流事業

「二〇一八薩長維新塾キッズ in KAGOSHIMA」

（先人の志に学び、

薩長の友好を深める）

萩・明治維新百五十年記念事業、鹿児島市・萩市青少年友好交流事業として、萩市の小学生五、六年生十五名が友好都市鹿児島市を訪れ、鹿児島市の小学生十五名と交流しながら、維新に関わりがあった先人の偉業を学ぶ体験活動を実施しました。

▽日時 平成三十年八月七日〜九日



“みんなの150年プロジェクト”として、次のような事業が行われました

■風人雷人in萩

▽日時 平成30年10月13日〜14日
▽場所 旧萩藩御船倉、石彫公園西の浜、萩博物館
▽参加者 300人



■シンポジウム「明治維新前夜」

▽日時 平成30年10月8日
▽場所 須佐文化センター
▽参加者 150人



■KONISHIKIが来萩、子どもたちと歌い、踊りました

▽日時 平成30年10月21日
▽場所 萩市民館大ホール
▽参加者 414人



■「新島八重物語／白虎隊物語」紙芝居上演

▽日時 平成30年10月14日
▽場所 松陰神社 立志殿
▽弁士 會津こころ亭 星 絵里子氏
▽参加者 50人



■「移り変わる白虎隊のイメージ」講演会

▽日時 平成30年10月14日
▽場所 西京銀行 萩支店
▽講師 福島県立博物館学芸課 課長 川延 安直氏
▽参加者 55人



萩・食の祭典 つながる、ひろがる、萩・食づくし

萩の豊かな自然環境に育まれた食の資源を十分にいかすべく、また、新たな萩の魅力となる食をテーマとしたイベント「萩・食の祭典」が開催されました。

萩の食を楽しみながら、歴史や自然など萩ならではのテーマで、著名人にお話しいただくトークショーが実施されました。

萩食談

「偉人の食卓」
明治維新当時の偉人が食していた料理をテーマに萩の食と歴史について語りました。

「和の食卓」
萩城下町と着物と萩焼など、萩のキレイと食について語りました。

「ジオの食卓」
「地球を食べる食堂」萩の大地の魅力とともに、萩の食について語りました。

「開運の食卓」
開運も味方に運命を切り拓いてきた先人に因んで、萩食材を絡めた「開運飯」について語ります。

▽開催日 平成三十年十月二十日
▽会場 萩の宿 常茂恵
▽ゲスト 高橋英樹さん（俳優）、山口 泉さん（道の駅萩しーまーと駅長）
▽参加者 一〇〇人



高橋英樹さん

▽開催日 平成三十年十月二十一日
▽会場 萩城三の丸 北門屋敷
▽ゲスト 中村江里子さん（フリーアナウンサー）、金子信彦さん（萩焼作家）
▽参加者 七十人



中村江里子さん

▽開催日 平成三十年十月二十七日
▽会場 梅乃葉（萩市須佐地域）
▽ゲスト 勝俣州和さん（お笑いタレント）、白井孝明（萩ジオパーク専門員）
▽参加者 五十人



勝俣州和さん

▽開催日 平成三十年十一月三日
▽会場 萩・明倫学舎
▽ゲスト ボルサリーノ関さん、角田住職（萩市むつみのネコ寺・雲林寺）
▽参加者 四十人



ボルサリーノ関さん



萩・明治維新百五十年祭

音楽イベント開催事業

吹奏楽による組曲「吉田松陰」

▽四月二十二日開催
▽出演者 指揮 田久保裕一氏、ソリスト四名、萩吹奏楽団サマーオーレンジーズ及び有志、市民合唱団、劇団さくら組
▽主催 萩発愛のメッセーじ
▽観覧者 七〇〇人



萩市民音楽祭特別公演

ウィーン少年合唱団萩公演

▽五月十一日開催
▽出演者 ウィーン少年合唱団ハイドン組二十五名
▽主催 萩音楽協会
▽観覧者 九二〇人



萩・第九演奏会

▽十一月十八日開催
▽出演者 指揮 福田 隆氏、ソリスト四名、山口県交響楽団、萩第九を歌う会
▽主催 萩第九を歌う会
▽観覧者 九〇〇人



萩市民大学教養講座

萩・明治維新百五十年の記念すべき年として、シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんを講師としてお招きしました。

高橋尚子さんは、「走り続ける中で」と題したトークショーの中で、シドニー五輪でサンガラスを投げた時のエピソードなどを紹介されました。翌日の萩城下町マラソンでは、雨の中参加者とハイタッチを交わしながら、一緒にコースをランニングされました。



高橋尚子さん

▽開催日 十二月十五日 市民大学教養講座（トークショー）
▽十二月十六日 維新の里萩城下町マラソン
▽参加者 トークショー七〇〇人、マラソン三、四三八人

輝け花と共に！池坊山口県連合支部 いけばな池坊展

▽三月十六日・十七日開催
▽会場 萩市民体育館
▽主催 華道家元池坊山口県連合支部



受章・受賞おめでとうございます

紺綬褒章

森川 翠水（東京都在住）

萩市小川出身の水墨画家 森川翠水氏が、自身の作品を公益のために寄付された功績により、紺綬褒章を授与されました。



▽ご寄付いただいた作品個展「ふるさと萩」（平成二十九年八月、市民館にて開催）で展示された作品を含む書・水墨画三十二点。

萩市教育文化奨励賞

文化功労賞

▽筒井 順督（七十七歳、椿東）

昭和四十七年から絵画グループ「アートリエ樹」として、中央公民館を活動の拠点に絵画教室を主催。制作活動を通して地域文化の向上、地域コミュニティの推進に貢献。



昭和四十七年から絵画グループ「アートリエ樹」として、中央公民館を活動の拠点に絵画教室を主催。制作活動を通して地域文化の向上、地域コミュニティの推進に貢献。

▽天狗拍子保存会（代表・坂本漁一）
玉江神社の奉納行事として行う「天狗拍子」の子ども達への指導を通して、地域の歴史ある伝統芸能を後世に継承させるため、長年にわたり尽力。



▽大板山たたら太鼓同好会（代表・鈴木和夫）
平成八年の発足以来、創作和太鼓を通して、地域文化の向上に尽力。また、大板山たたら製鉄遺跡のPRに寄与。



▽萩光塩学院高等学校書道部
創部以来、各地で開催される祭りやイベント等に参加し、書道パフォーマンスを通して書道の魅力を広める活動を積極的に推進。

特別賞

萩市教育文化奨励賞授賞式

